

経営計画全く立たない

全建

ブロック会議

総括 ②

2007年度の「全建」認識で、地方建設業界と国
ロック・地域懇談会」で厳 土交通省双方が一致したた
しい議論が相次いだのはな めだ。

ぜか。その理由は、時代の 10月15日の近畿地区プロ
さまざまな変化が、これま ック会議。京都府建設業協
で以上に建設業界の苦境を 会の絹川治会長は、言葉
顕在化させ、このままでは 運びながら「今は経営計画
『負の連鎖』を断ち切るチ が全く立たない。受注シス
ヤンスを失いかねないとの テムが変わったことで、行

国民、労働者にも影響

き当たりばったりの受注計 た。そして、その引き金が
面になっている」と地方建 「入札・契約制度上の問題」
設業界の現状を説明した。 であり、ダンピング（過度
これまで地方建設業界だ な安値受注）のまん延だっ
けでなく国交省も問題視し た。

てきた『負の連鎖』とは、 しかしこの1年で、この
「まじめに努力する企業・ 『負の連鎖』を拡大させる
技術者・技能労働者が報わ 2つの要素が加わったこと
れない」ことが、「建設生 が、「総合評価方式を導入
産物の品質低下」につなが できない自治体は指名競争
り、「建設産業の衰退」を入 札に戻してもいいじゃな
加速させる構図のことだっ いか」（絹川会長）という
争激化を加速させた。

『負の連鎖』拡大危機

指名復活論につながった。 これまで旧来システム 業にとどまらず建設業界
絹川会長が発言した「受 は、品質確保に懸念がある や発注者、さらにはユーザ
注システムが変わった」こ 企業や、反社会的勢力の公 ーである国民・住民にも影
ととは、大手建設業団体が 共工事への参入に対して一 響を与えかねない深刻な問
踏み切った、『旧来のしき 定の抑止力を持っていた。 題になっていった。

だが旧来システムの瓦解 国交省の産業行政と発注
は、「悪貨が良貨を駆逐」 施策がともに、地方建設業
と「技術と経営に優れた企 界の置かれている苦境と悲
業による公平・公正な競争 鳴に対して、ブロック会議
基盤の阻害」を増幅させた。 ・地域懇談会で最大限の理
つまり、不良不適格業者 解を示す一方で、自らも現
という悪貨が、地域でまじ 状に対して強い危機感を表
めに施工を行う良貨を駆逐 明したのは、こうした背景
し始めた。『負の連鎖』の があった。

拡大は、地域の基盤整備の その意味で、議論の柱だ
担い手であり地域経済を支 った総合評価方式の問題と
える地方建設業の衰退を招 は、たんに入札・契約制度
くだけでなく、現場技能労 をめぐる議論ではなく、新
働者の待遇の悪化や技術・ たな公共調達システム構築
技能の衰退を招き、元請企 へ向けた第一歩だった。